

都留市地名考

その十七

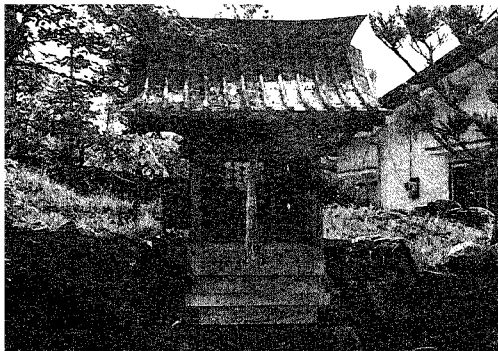
窪田 薫

○戸沢・玉川

戸沢・玉川の集落は、寛文年間（一六六一―一七二）朝日村から分離して別村となり、明治八年九月十五日法能村と三村合併して三吉村となり、昭和十七年四月一日谷村町に合併した。

「戸沢」の地名は『日本後紀』（七九二―八三三）の四十一年間の（国史）によると「砥沢」とあるので、古代からの地名である。

砥沢の砥は砥石のことで、刃物や玉石を研ぎ磨くのに使用されることから戸（砥）沢川の上流溪谷



上戸沢に祀る金山神社

から、古代砥石が採掘されたことが推察される。また下流菅野川と合流する付近を玉川（地名の玉川より名付けたか）とよんでいる。

『甲斐国志』に、戸沢村、玉川村両村に氏神として金山権現（祭神：金山彦命・金山姫命）が祀られると記してあるが、金山神は鉾山師、鍛冶師の祀る神である。

また刃物や玉石類は砥石によって研磨されることから、研師や玉作師とかかわりある神でもあることが知られる。

玉には勾玉・管玉・円玉などがあり、動物のキバやツメをまねてその形につくったのが勾玉であるといわれている。

菅野川の上流水晶沢からは水晶がとれ、戸沢川の周辺の山々からは鉾石が採集されることから、古代玉川の集落及び付近で、砥石の研磨による玉づくりが営まれたのではあるまいか。

戸（砥）沢の地名は、古代の甲斐・相模両国の国境争いで知られている。『日本後紀』に、「…定ニメ甲斐国都留郡留村東辺砥沢」。

ると、「鹿留村の東辺砥（戸）沢」と解せられ、都の字を入れると、「都留村の東辺名倉沢（神奈川県津久井郡）」と解せられている。

増田誠版画展

しんせん・やまなし観光キャンペーンの一環として、また、増田誠美術館開館一周年を記念し、七月一日（木）～三十一日（土）まで開催します。

一九七五年に制作された王様と王妃シリーズ十点（石版画）と一九七六年に制作されたボンジュールアンドマダムシリーズ十二点（銅版画）蚤の市（銅版画）キャフェ（銅版画）の合計二十四点を展示します。

ふるさと
の
六月
5日 端午の節句
市内各地

野外植物観察会

昨年、好評をいただきました野外植物観察会を今年も引き続き開催します。都留文科大学の森江晃三教授を講師にお迎えして、野外での植物や人との出会いを楽しみに行っている方々の参加を歓迎します。

今回は宝鉾山跡を中心に「いきものふれあいの里」が今年中に完成する予定ですが、この付近からもう少し上流にむかって沢ぞいの植物をみてみたいと思います。歩きやすい服装で参加してください。

なお観察会ですので、採集は禁止です。自然保護と清掃にご協力

ください。

日時 6月19日（土）

午前10時30分～午後2時
雨天の場合は20日（日）に延期します。

集合場所

グリーンロッジ入口

※昼食は各自持参
参加料は無料ですが、保険料として一人100円をご負担いただきます。

バスを利用される方は都留市駅9時50分発宝鉾山行きにご乗車ください。お帰りは宝鉾山2時10分発をご利用ください。

定員 40名
締切 6月15日（火）
申込・問合先

市教育委員会 社会教育課

子どもクラブのリーダー研修会

地域における「子どもクラブ」の重要性は、学校5日制導入にともない、一層重視されています。市では本年も「子どもクラブジュニアリーダー研修会」を開催します。

申し込み順に受け付け、定員になれば締め切ります。

日時 6月26日（土）・27日（日）
午後1時～3時
会場 グリーンロッジ
参加者 小学校5・6年生と中学校全学年の希望者
参加費 1,000円
締切 6月15日
申込・問合先 市教育委員会 社会教育課